

(第3種郵便物認可)



毎日新聞



2006年(平成18年)9月14日(木曜日)

14版

2

## 最も遠い銀河観測

すばる  
望遠鏡

国立天文台の家正則教授らは、米ハワイ島のす

ばる望遠鏡で、観測史上最も遠い銀河を発見した。中川幹事長「で調整が進むことから、外相再任との見方も党内には出ている。」

院選の自民党公認候補見直しに言及したことについて「地元のみなさんと新しい執行部が協議して決めるべきことだ。新総裁になってからですからね」と述べた。安倍氏に対し、地元や参院執行部の意向に配慮するよう促しなどみられる。【渡辺創

ばる望遠鏡で、観測史上最も遠い銀河を発見した。中川幹事長「で調整が進むことから、外相再任との見方も党内には出ている。」

11面NEWS LINE

に写真。地球からの距離は約128億8000万光年(1光年は約9兆4600億<sup>キ</sup>)。従来の観測に比べて約6000万光年遠く、ごく初期の宇宙の状態を知る上で、重要な手がかりになるという。14日付の英科学誌「ネイチャー」に掲載される。家教授らは、遠い天体ほど地球から速く遠ざかるため光の波長が伸びる現象を利用して、波長約0.97 $\mu$ mの光だけを通して特殊なフィルターを開発。遠方から来る光をこし分けて観測し、発見に成功した。【山田大輔